

例えば、1つの料理を作るにも、そのための素材選びから下ごしらえ、調理、配膳に至るまで目に見えない多くの人の力があり、その作業やかけられた時間がある。

オペラ公演も、実はお客さまの目に決して触れることのない、想像を超える多くのスタッフによって支えられている。

スタッフ、それは出演者以外の制作に裏で関わるそれぞれ専門分野の関係者全員のことだ。通常、公演終了後に舞台上でお客さまから拍手を受けられるのは出演者のみだが、その舞台裏でどれほどの人々の作業と努力があることだろう。スタッフの熱い思いが出演者と一つになって、お客さまの感動を生み出すことをどうしてもお伝えしたい。

表も裏も一丸となり、総力を結集し、その思いが客席に届いたときの喜び。どんな苦

「舞台裏のスタッフ」あつてこそ



労も吹き飛ばす幸せの瞬間、それが舞台芸術の醍醐味だ。

私は歌手として、自分のできうる最高の歌をお届けすることが役割である。同時に、スタッフにも一緒にこの仕事をして良かったと喜んでほしいと思っている。みんなに報いたいと、いつも思う。なぜなら、公演の成功はわれわれの夢だからだ。

信頼と感謝のもとに、出演者も裏方もそれぞれ最高の力を出し合い、作り上げるオペラ公演は私たちの愛であり誇りだ。

私は本当に幸せ者だ。彼らがいるから私は歌える。彼らのためにも、自己ベストの歌

が歌いたい。そしていつか舞台と一緒にスタッフ全員、万雷の拍手を受けてもらいたいと私は願うが、本物のスタッフは、そんな脚光さえ浴びる必要がないという、感動的な職人魂を持っているのだ。

今取り組んでいるオペラ「夕鶴」再演初日は、チームの熱い思いが届き、鳴りやまぬ拍手の中、大成功に終わった。あのみんなのすがすがしい笑顔が忘れられない。さあ、全国の皆さま、どうかチーム「夕鶴」の熱い思いを受け止めにいらしてください。

(さとう・しのぶ＝声楽家)  
＝毎月第3金曜日掲載

